

# YAMAKADO NEWSLETTER

2013/07/27

山門水源の森次の  
世代に引き継ぐ会

## 保全作業の成果次々と・・・



ミツガシワ再生順調 (13/06/26)

2010 年壊滅状態になった南部湿原のミツガシワ群落の再生を願って、景観台無しのシカ食害防止ネットを設置した。加えて 2013 年 4 月からはイノシシ対策のトタンを設置した。大変な労力と経費をかけたが、見事に再生が続いておりこのまま順調に行くと再来年くらいには 1990 年代のミツガシワ群落が蘇るはずです。この他北部湿原のミヤコアザミも株数が増加・2005 年に初めて播種したササユリも本年初めて開



順調に生育するミヤコアザミ (13/06/26)

花し、来年以降は次々開花株数が増えるはずです。加えてやまかど・森の楽舎付属湿地に数株植栽したヒツジグサやクサレダマ・ミツガシワ・ヒメミクリ等は今や水面や湿地を被い隠さんばかりに分布を広げようになってきました。いずれの保全にも長い年月が必要で、その間の管理にも手を抜けませんが、施した労力には自然は報いてくれることがこれで実証されたこ



2005年播種ササユリ開花 (13/06/23)



3株から増えたヒツジグサ (13/06/29)



最初の播種から10年のクサレダマ (13/06/29)

とになります。もっともちょっとした手抜きをやってもシカの食害で一夜にして台無しになることも多いので日々の観察監視を怠れません・・・。



ブナの植栽今回は塩津小5年生親子で(13/06/29)



植栽準備をする森林キーパー (13/06/29)

5月の永原小学校に続いて今月は塩津小学校の子どもたちが展望場上の平坦地にブナの植栽をしてくれました。今回は親子で和やかに話しながら植えてくれました。これは親子にとってもまたとない記念になるはずです。子どもたちが長じて家を離れる時も、この日の思い出は親子それぞれの心に残っているはずです。ここへ来ればこの日のことが蘇ってくるはずです。これで地域に根ざした保全活動がまた一つ広がったことになります。もっともこの活動をして貰うための下準備もなかなか大変で、植栽地点の掘り起こし・苗(2005年播種)の準備・植栽地点の土壌改良のための腐植土準備、更に今後子どもたちの夢を壊さないための水管理などがあります。



堺市大泉中学校の自然学習 (13/06/20)

他府県からの自然学習校が増えていますが、カリキュラムが満杯で子どもたちにゆとりを持たせてもらいたいものです。今年もミシガン州立大学連合の留



ミシガン州立大学連合フィールドトリップ(13/07/04)

生がフィールドトリップに来ました。雨模様の中、天然更新試験地・熊の寝床などを案内しました。



産卵を始めるモリアオガエル (13/06/20)



ヒダサンショウウオ(13/07/14)

2009年2月2日に四季の森で見つかったヒダサンショウウオ。その後何回か調査をしたが見つかりませんでした。2011年夏来訪中の小学生が幼体を発見。その後何回となくその場所で幼体が見られました。最近になって会員が最初の発見場所とは異なった地点で幼体を見つけるや、次々と幼体が見つかります。これで四季の森周辺では、順調に繁殖が行われているように思われます。